

【研究シーズテーマ】

ユーザ体感品質に基づく 情報通信アプリケーションの最適設計法

 情報学部 情報コミュニケーション学科 教授 **林 孝典**

Keyword
ユーザ体感品質／ユーザビリティ／品質評価・設計／品質可視化

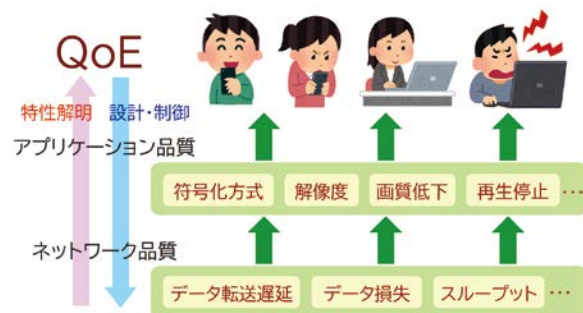

情報学

【研究シーズの概要】

音声通話、映像配信、Web閲覧などの各種情報通信サービスを快適な品質で実現するため、ユーザが体感する品質 (QoE: Quality of Experience) を心理実験によって定量化し、その結果をアプリケーションやネットワークの最適設計に活かすための評価法を提供します。最近では、仮想現実における臨場感・没入感、遠隔映像監視アプリケーションのユーザビリティなども取り扱っています。



主観品質評価の実験設備と実験風景



各種品質要因とQoEの関係(映像配信の例)

【新規性・独自性・従来研究(技術)と比べての優位性】

- アプリケーションを利用するユーザの立場から品質を最適化(人間中心設計)
- 安定性・再現性が高いユーザ体感品質評価手法の開発と適用
- 心拍や脳波などの生体信号を活用した感性評価法へ拡張中

【産業界での展開・用途】

- 音声通話、映像配信、Webなどの情報通信アプリケーションの品質設計
- 情報通信サービスの品質可視化による運用管理の効率化

連絡・問合せ先

 広島工業大学 研究支援機構 〒731-5193 広島市佐伯区三宅2-1-1
 (事務窓口: 研究・地域連携支援部) TEL:082-921-4222 FAX:082-921-8963
 URL <https://www.it-hiroshima.ac.jp/for-research/office/> E-mail kyo-kiko@it-hiroshima.ac.jp